

2年ほど前から背中や胸部の体感温度の異常に悩んでいます。最初はホットフラッシュと思っていたのですが寒気も感じるようになり、現在は熱感や寒気が同時に起こって不快です。何科を受診すれば良いのでしょうか？ 治すことはできますか。(76歳、女性)

KARTE
カルテ
Q & A



川口恵子医師

体のどこかが熱い、あるいは冷たくて悩んでいる方はとても多いです。しかし、西洋薬で更年期婦人の冷えのぼせ、いわゆるホットフラッシュ

こかに熱感を訴えていても全身的な身体機能の低下によるエネルギー産生の低下、自律神経機能や体温調節機能の低下によって冷感を抱えていると考えられます。暑がついても基本は冷えであり冷感を改善すれば火照りもなくなる人が多いです。

しかし、冷えとのぼせが同時にある場合、冷え性の薬だけでは不十分かもしれません。漢方薬には冷えとのぼせを両方同時に改善する薬もあるのです。「桂枝茯苓丸」「加味逍遙散」「温清飲」「六味丸」などがよく知られています。このような薬を単独で

に診察しないと決められないので、漢方薬を取り扱う医療機関を受診してください。日本東洋医学会のホームページで、漢方専門医の名前や医療機関を知ることができます。(兵庫県臨床漢方医学会、川口恵子|神戸市灘区、川口レディースクリニック)

冷えのぼせ

漢方薬扱う医療機関 受診を

ユに有効な女性ホルモン以外は暑がりや冷え性に効くものはありません。高齢でのぼせと冷えが同時に起こるケースで効果がある西洋薬については思いつきません。

を抱えていることが多く、それらの疾患にも有効な漢方薬がいろいろあります。例えば腸が弱って下痢をする人には「真武湯」、食欲がなく体力が衰えていたら「十全大補湯」、腰痛や排尿の具合が悪ければ「牛車腎気丸」といった具合です。

試してはいかがでしょうか。漢方の大家、藤平健先生の本には背中が熱くなったり寒くなったりする人には「加味逍遙散」「桂枝加竜骨牡蛎湯」「柴胡加竜骨牡蛎湯」が有効とあります。漢方薬の名前をたくさん紹介しましたが、何を処方するかは、実際